



特急「丹後の海」3編成目が9月19日より運行開始！



海の京都 ～「丹州材」「丹後ちりめん」など沿線素材を活かした車両が登場～ 森の京都

平成 28 年 9 月 9 日
WILLER TRAINS 株式会社
北近畿タンゴ鉄道株式会社
京都府建設交通部交通政策課

京都丹後鉄道では、「海の京都」のシンボル列車として、昨年11月から特急「丹後の海」が運行していますが、この度、新たな車両となる3編成目を9月19日（月・祝）から運行開始しますので、ご周知及びご取材をお願いします。

3編成目は、1～2編成目に続き水戸岡鋭治氏の設計・デザインのもと、京都府福知山産の「丹州材（たんしゅうざい）」や「丹後ちりめん」など沿線の素材を積極的に活用した車両となっていますので、ご期待ください。

記

1 導入日 平成 28 年 9 月 19 日（月・祝）

※9月19日（月・祝）、20日（火）は、丹鉄線内を走る「たんごりレー号」等として運行。

たんごりレー2号（6:50 宮津駅発）が3編成目で運行される最初の特急列車となります。

※9月21日（水）以降は、「はしだて号」「まいづる号」としてJR京都駅に乗り入れ予定。

現在、「丹後の海」のJR線乗り入れは、「はしだて号（奇数日）」、「まいづる号（偶数日）」の日替り運行ですが、4編成が登場・運行可能となる12月以降は原則毎日どちらも「丹後の海」運行となります。

2 3編成目における工夫点

○京都府福知山市内で生産された「丹州材」の活用

（協力：福知山林業振興協議会）

- ・車両内の家具（自由席側パブリックスペースのカウンター等）は、これまでナラ材でしたが、今回、福知山市内で生産された「丹州材※」のヒノキを使用。
- ・沿線地域（福知山）の事業者により丹精込めて生産・加工されたヒノキなど、車内は木材がふんだんに使われ、明るく優しい雰囲気となっています。

※丹州材：中丹地域等京都府北部の山から生産される木材

○「丹後ちりめん」の活用

（協力：丹後織物工業組合）

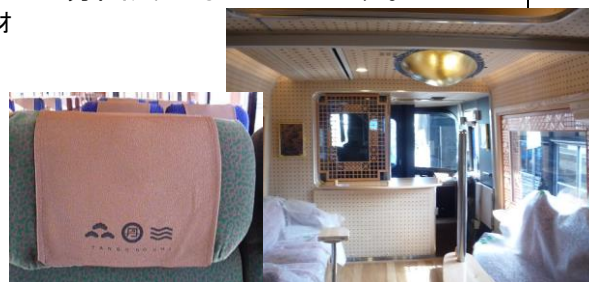
- ・ヘッドカバーに「丹後ちりめん」を使用

※現在は1～2編成目にも装着されています。

○装飾品（金箔の飾り）の制作

（協力：京都表具協同組合）

- ・2編成目に続き、パブリックスペース天井部分に、“運気が上がる”とされる本金箔を用いた装飾品を設置。



3 取材について

取材をご希望の方は、写真画像のご提供等、随時ご対応いたしますので、WILLER ALLIANCE 株式会社 広報へお問い合わせ願います。

問合せ	車両・運行	WILLER ALLIANCE 株式会社 広報 TEL 06-6123-7250
	その他	京都府建設交通部交通政策課 TEL 075-414-4360